



4月23日(火)

## 妨げになること

聖書朗読 ルカ 10:38~42

いばらの中に落ちるとは、こういう人たちのことです。みことばを聞きはしたが、とかくしているうちに、この世の心づかいや、富や、快樂によってふさがれ、実が熟すまでにならなにいのです。 ルカ 8:14

妻は、私がテレビを見ながら妻と話すのは不可能だと言います。彼女の話の内容が何だったかと聞かれると、やはり正しく答えられません。妨げになるものがあると正しく聞き取れないのです。

ルカ10:38~42を読んだ時に、この事を思い出しました。マルタはイエス様を自宅に招待しました。彼女はイエス様に良い印象を与えようとしました。妹のマリアが座ってイエス様の話を聞いている間、おもてなしすることに躍起になっていました。ついに、マルタは腹を立て、イエス様に怒りをぶつけました。「主よ。私の妹が私だけにもてなしをさせているのを、何ともお思いにならないのですか。私の手伝いをするようにおっしゃってください」。イエス様は、必要なことは一つだけで、マリアは良い方を選んだのだとお答えになりました。

マルタは奉仕の心を示してくれましたが、それは最も重要なことを妨げてしまう結果となりました。私たちはこの世のことを必要以上に心配していませんか。イエス様の安らぎの御言葉や救いの望みを熱心に求めていきましょう。

讃美歌 260

祈り 主よ。私たちを救ってくださる真実の御言葉を心から求めさせてください。あなたの教えを聞くことを妨げるものから遠ざけてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ロバート・P・リー  
コロラド州 オーロラ

4月24日(水)

## 迷子 発見 救済

聖書朗読 ルカ 15:1~24

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。 ルカ 19:10

迷子:デパートで店内放送がありました。「迷子のお知らせをいたします」。

羊飼いが群れをそのまま残して1匹の羊を捜しに行った話が、今日の聖書朗読の箇所です。

大切な愛するものが、さまよって出てしまったのです。そのため、イエス様は天国を去って地上にいらっしゃったのです。私たちは迷子になっていました。私たちは助けなしで、希望は持てません。イエス様は3つの例え話をなさいました。どこかに行ってしまった羊と、どこかに行ってしまった銀貨と、どこかに行ってしまった息子の話です。羊は100匹いて1匹がいなくなってしまうました。女の人は銀貨を10枚持っていてその1枚がなくなってしまうました。父親には息子が2人いて1人がいなくなってしまう、父親は息子を愛し帰ってくるのを待ち続けていました。比率を見てください。100対1, 10対1, 2対1。そして今は私たちを捜してください。羊と銀貨と放蕩息子と私たちの中で一番価値があるのはどれだと思いますか。

発見:『この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。』(24節)。イエス様は迷子になった者を捜して救ってくださるためにいらっしゃいました。捜しただけではありません。取り戻し、私たちを価値あるものと考え、正常な状態に戻そうとしてくださいました。あなたのために、そして私のために! イエス様は「捜し終えました。全員見つかりました」とおっしゃりたいのです。

救済:天のお父様は私たちが 御腕の中に神の家族の中に戻ってくることを願っておられます。

讃美歌 461

祈り 聖なるお父様。まず神様の方から私たちを愛してくださいました。私たちが帰るのを待ち、家に連れ帰ってくださいました。感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロル・ローズ  
コロラド州 プエブロ

4月25日(木)

## 盲点

聖書朗読 ルカ 18:18~25

イエスは言われた。「人にはできないことが、神にはできるのです。」

ルカ 18:27

聖書の語る罪の考えは、自己啓発の本の中には出てきません。それは私たちの今の文化では「時代遅れ」のものとされています。人間は全員が罪人であるという観念はプライドを傷つけるというのが、罪が無視されている最大の理由だと思えます。神と和解して恵みを受けることや靈性を強めるといったようなことが必要だということ、私たちは否定しています。

しかし、イエス様は罪について沈黙なさいませんでした。イエス様は裕福な若い指導者に、持ち物を全て売り払ってから従って来るようにおっしゃったとき、自由と喜びを約束してくださいました。しかし、この若者には盲点があったのです。神様の恵みや愛以上に、自分のやり方 自分の生き方 自分の意思に重きを置いていたのです。

姦淫の罪を犯した女を石打ちの刑にしようとした民衆に対して、イエス様は「あなた方の中で罪のない者が、まずこの人に石を投げなさい」とおっしゃいました。その時、主は彼らが自らの罪、自らの愛の足りなさに気づくように促しました。彼らは石を投げずに去って行きました。悔い改めたのかもしれませんが、そして、女の人は赦しと命を受けたのです。

罪を誠実に見つめることで、神様の素晴らしい恵みを見る目が開きます。罪をなおざりにすることは、神様との関係や人間関係を犠牲にしてしまいます。また、私たちの心を変えてくださる神様のお働きを制限してしまいます。

*善と悪の線引きは、時代や階級や政党でされるものではない。  
それは人間一人ひとりの心の中でされるものだ。  
罪や悪を働く能力に関しては、  
「私たち」と「彼ら」ではなく、  
ただ「私たち」だけが存在する。*

—————ソルジェニーツィン

讃美歌 520

祈り 主なる神様。罪をそのままに放置していることを悔い改めさせてください。神様からの赦しを感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アンディ・ウォール カルフォルニア州オークパーク

4月26日(金)

## 眼差しの力

聖書朗読 ルカ 22:54~62

信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。

ヘブル 12:2

ペテロはイエス様がどうなるか見たかったのです。そこで、危険を冒しつつユダヤ人が裁判をする場所に行きました。そこで『この人も、イエスといっしょにいました』と言われると、ペテロは『いいえ、私はあの人を知りません』と嘘をつきました。しばらくして違う人に再び言われると、また否定したのでした。その時、イエス様はまっすぐパウロを見つめられました。その眼差しは、彼の胸をグサッと突きました。ペテロはその時、自分が夢にも思っていなかったことをしてかしたと気づき、外に出て行って激しく泣きました。

母親から、または結婚相手から、そういう眼差しを向けられたことはありますか。その眼差しのおかげで、心や言葉や行いが愛から逸れずにすむことがあります。

いつでも立ち返ることができるのに、それに気づく前に強く拒否する人もいます。また、眼差しを素早く感じてイエス様の強い愛に顔を向けていきたいと思う人もいます。そういう人は主の近くにいる人です。ちょうど聖書を読んだ時、ちょうど祈った時、キリスト様の眼差しとご臨在を感じます。そして主の眼差しに顔を向けたくなるのです。

讃美歌 312

祈り 神様。正しい道から外れそうな時、イエス様の存在を感じる事ができますように。私たちが誘惑にあう事なく、光の道を歩めますように。

キリストのお名前を通して。アーメン。

スタフォード・ノース  
オクラホマ 州エドモンド

4月27日(土)

## 気高さ 良い血筋 王の一族

聖書朗読 ヨハネ 1:10~13

私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の子どもです——御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。

I ヨハネ 3:1

子どもの頃、王様や女王様の話が大好きでした。もしかしたら自分は隠された王家の末裔なのではないかと想像したものです。成長してからは、歴史上の重要人物が先祖にいないかと家系図を調べました。しかし、その努力もむなしく、祖父から「ただの馬泥棒の子孫だ」とはっきり聞かされました。

ヨハネの福音書によれば、私は王家の血筋の者です。それは、ただイエス・キリストを信じた故にそうなれたのです。ヨハネは、私たちがイエス様を「知る」そして「受ける」のを目的に創造されたと言っています。それをしなかった人が過去にもそして今もいますが、ただ主の名前を信じれば創造の一部に組み合わされるのです。それは、真の意味で「神のもの」になるということです。

自分の先祖を何代にもさか上ることはできますが、最も重要なことは神(父親)と私(子)という簡潔で短い家系図です。それはあなたにも言えることです。あなたも私も家系図の中の失われた血筋ではないのです。高貴さや過去の栄光があるから私たちに価値があるのではないのです。今このままの状態です。永遠の王の一族に属させていただいているのです。

讃美歌 352

祈り 親愛なる神様。私たちは自分の存在理由と存在価値をあなたの中のみ見出します。それゆえに、今日の日を自信を持って安心して過ごすことができます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カート・ニクム  
テキサス州 アビリン

4月28日(日)

## 道を指し示す

聖書朗読 ヨハネ 1:29~34

見よ、世の罪を取り除く神の小羊。

ヨハネ 1:29

私は弁護士ですが、「説教者」や「聖職者」と思われる時があります。それは、私がイエス様に従う者であり、主の教えに忠実になろうと努めている者だからです。意識して救い主の話をするのではないのですが、話や言動から何かしらの強い印象を残しているのでしょう。

私の信仰を指摘された時は、そう褒められた者ではないと答え、愛のなさや偏見の持ち主であることや、自己中心であることや、過度に厳しいところなど自身の罪深さを伝えます。そして、イエス様に目を向けていただくように、あらゆる言葉を使ってバプテスマのヨハネが言ったことを言います。『イエスを見よ、世の罪を取り除く神の子羊。』私が伝えたいのは、「私を見ると、罪人が見える。イエス様を見ると、救いが見える」ということです。

正直なところ、人から褒められると誇らしい気持ちになります。しかし、すぐに自分の罪深さに目を留め、身を低くします。見るべき人は私ではなく、イエス様です。ですから、私は罪を取り除いてくださる神の子羊なるイエス様の話を語るのです。

讃美歌 主はすばらしい(God is so good)

祈り 私が注目される時、イエス様が注目されるように指し示すことができますように。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

ダン・パイトマン  
テネシー州 フェアビュー